

# 2026年度 第2回 さくら山王自治会 役員会議事録

開催日時：2026年5月16日（土） 13:00～15:00

場所：山王集会所

出席者：22名（欠席0名、全員参加）

## 1. 各部の進捗報告および協議事項

### ■ 防犯部

防犯パトロール：当番表を作成し、第1回（5月5日）のパトロールを完了。第2回は本日（5月16日）実施予定。

防犯カメラの点検：設置されている11台中3台の動きがおかしく不調であるため、現在確認中。

備品更新：破損（ヒビ割れ）のあった登り旗1本を交換。

スクールガード：5月27日予定のスクールガード参加可否の取りまとめを急ぎ実施すること。現時点で会長、副会長、伊藤氏（アドバイザー）が参加。

### ■ 防災部

活動計画・方針の策定：防災委員会と共催し、「自助」「共助」「公助」の「自助」を軸とした活動計画・方針を説明。

山王防災72（案）：「災害発生からの72時間」を意識した防災活動（安全確保、備え、情報収集、行動訓練）の徹底普及を目指す。3分間に命を守る行動をとることや、家族間の連絡方法・行動訓練の重要性を啓発。

周知活動：住民の防災意識向上のため、7～12月の回覧板等で広報・イベント周知を実施し、自主防災組織の体制整備に着手する。

### ■ 環境部

カラスネット（ゴミネット）の配布：4個購入し、すでに2個を配布済み。今後さらに1個配布予定（残在庫1個）。

今後は班長会議の際に在庫を配布する運用としたい。

刈りボランティア：各班からの登録メンバーが確定次第、環境部から担当清掃場所などの割り当てを連絡予定。

6月7日 全戸一斉清掃に向けて：

土嚢袋を3戸に1個の割合で配布予定。汚れ等のクレーム防止のため、少しでも汚れた分は破棄、未使用分は返却とする。

【意見】土嚢袋が水分を含むと1袋20kg程度になり高齢者には重すぎるため、次回以降は「2戸に1袋」にするなど配布枚数の増加を検討（次回への引継ぎ事項とする）。高齢化に伴い、側溝の土砂掻き出し等は無理のない範囲で行うよう注意喚起する。

清掃場所ごとの案内・周知資料を全戸配布予定。27～30班の対応範囲（集会所～山王公園）が広すぎて時間内に終わらないという指摘があり、次回の場所指定・担当割を再検討する。

今後の予定：空地・空き家調査を実施し、市役所へ草刈り等の要望書を提出予定。また、公園の遊具やベンチの破損を確認し、修理要望を提出する。

### ■ 施設部

業務引継ぎ：今月は主に引継ぎ業務（集会所の料金徴収関連の手続き、利用手数料の預かり等）を実施。

ロボット掃除機の運用トラブルが頻発し、毎週対応を行った。

契約関連：シルバー人材センターの清掃員変更に伴う契約更新。コピー機（4月23日設置）と印刷機（4月30日設置）のリース契約期限終了に伴う新機種への対応。

倉庫の破損事故：4月28日に京葉銀行駐車場でアクセルとブレーキの踏み間違い事故が発生し、自治会の防災倉庫、

外壁、フェンスが破損。自治会は当事者の保険による原状復帰を依頼した。

## ■ 福祉部

「愛光」との打合せ：5月12日に愛光の横川理事以下4名と打合せを実施。令和4年に実施した地域アンケート（回収率43.9%）で「買い物への不安」や「地域の安全・防犯」が挙がっていたことを踏まえ、連携内容を協議。愛光の事業として、毎月第3水曜日に地域食堂（70食、100円）を提供している。

行政連携：5月26日に南部地域包括支援センターおよび南部保健センターの現状をヒアリングし、自治会として実施できる対応を整理予定。

## ■ 会計部

口座の組み替え：これまで3通あった貯金通帳を、資金管理効率化のため2通へ組み替えた。

組み替え前：普通預金（約3,200万円）、普通預金（約2,400万円）、定期預金（約600万円）

組み替え後：普通預金（約300万円）、定期預金（約6,000万円） ※計算上、合計額は一致します

ネットバンキング：検討の結果、現時点では利用しないことにした。

## ■ 総務部

連絡事項：部ごとの郵便物棚を用意した。都度郵便物を確認すること。

自治会ホームページ（HP）運営体制についての提案

### 【提案内容】

運営体制の構築：会長、副会長、総務部長、運営委員（4名程度）による「さくら山王自治会ホームページ運営委員会」を新設。現状はHP担当者（総務部副部長）に依存しているため、組織的な運営を行いたい。

システムの変更：現在の「あきばれホームページ」から、オープンソースの「ワードプレス（WordPress）」への変更。

維持費用の削減：現行の年間約7万円から、ワードプレス移行後は年間約1万円に削減可能。

### 【主な議論】

現在の運用に不都合があるのか。⇒ 個人体制を解消し、組織運営に変えたい。

当初から組織活動を意図して活動してきた。セキュリティ面を考慮して現行サービスを選定した。HP運営は素人が容易にできるものではなく、事故のリスクがあるため、慎重に検討すべき。

運営委員会を設置し、その上でサーバーやシステム内容、オープンソースのメリット・デメリットを精査すべき。HPの継続的な運営が重要。

総務部としてHP運営を担いたい。まずは現行HPを活用して、担当者から運用知識を学びながら、コンテンツについても総務部で検討していきたい。

### 【結論】

総務部を中心にHP運営・管理の検討を進めることで承認。運営体制（委員会）の構築を先行させ、システムやサーバーの移行については慎重に確認を継続する。

役員会、班長会議事録に関して

### 【主な意見】

形式と分かりやすさ：「見出しベースで簡潔にまとめ、詳細は別途確認できる形が良い」「5W1Hが網羅され、会議に参加していない人に正しく伝わるのが大事」「簡素化しすぎるのも良くない」との意見が多数。

プロセスの記載：「どういう意見・方向性で結論に至ったかのプロセスや、賛否両論の主な意見を書き添えるべき」という意見がある一方、「プロセスを全て書くと膨大になるため、重要度に応じて書き分けるべき」「人が作成する以上、バイアスを排除して二

ユートラルなものを作成するのは現実的には難しい」との指摘あり。

個人情報：特定個人の発言や個人名は原則として記載しない等の「NG ルール」を定めるべき。

共有方法：ネットを見られない会員への配慮として、回覧板での共有（項目と結果を重視した 1 枚もののレジュメ等）を推奨。書記が作成した網羅的な議事録（正本）は、確認や開示請求用に別途保管しておく。一方で、書記の負担を増やしていくと次年度以降に成り手がなくなるリスクについての意見もあった。

【結論（今後の手順）】

4 月度の書記作成議事録を、総務部長が必要箇所を修正し、会長・副会長（3 役）が確認した上で役員会へ回覧・フィードバックを募る。その結果を踏まえ、書記への記載方法の提案（5 月以降の参考）とする。今後も、議論を重ねてガイドライン（フォーマットや NG ルール）を作り、次年度以降へ継承していく。

## ■ 行事部

秋のイベント計画（案）について

自治会員の高齢化に伴い負担の大きかった「夏祭り」に代わり、持続可能な秋の代替イベントを計画。

開催場所：集会所（駐車場を含む）

開催時期：10 月中旬～11 月中旬の土曜日または日曜日のいずれか 1 日（日中 3～6 時間程度）

ターゲット：大人も子供も誰もが参加でき、楽しめる交流イベント

主なアイデア：

夏祭りの大規模な抽選会は集会所のスペース制約から、景品規模は維持しつつ「ガラポン抽選会」等への変更を検討。

子供向けに、今の子供が経験したことのないような「射的」「輪投げ」などの縁日（昭和の遊び）を子供会や PTA の協力を得て用意する。

「ビアガーデン」や「文化祭（24 クラブの協力等）」のような形式も視野に入れる。班長や運営側の精神的・肉体的負担を減らす視点を重視する。

キラーコンテンツ（食べ物）と課題：

過去の経験から「食べ物」は必須（キッチンカーの誘致など）。ただし、10 月はキッチンカー業界や小学校の行事（運動会や山王小フェスティバル）の繁忙期と重なるため、出店確保や駐車場調整が難航する懸念あり。また、前回ネックとなった「食べる場所の確保」も併せて検討が必要。

今後のスケジュール（案）：

6 月中：日程決定、イベント協力団体等への打診（規模縮小の企画打診、集会所利用団体への打診）

7～8 月中：イベント内容（参加団体・プログラム）の決定

8～9 月中：具体的準備の打合せ

10～11 月中：イベント開催

11～12 月中：事後整理・課題検討

他部からの申し出：防災部としてのイベント企画や全体のお手伝いでの参画希望があり、行事部としても歓迎（各班長の協力が不可欠である）。

施設部より、日程決定後は部屋の確保連絡を早期に行うように要請があった。

【役員会合意内容】

実施時期は、小学校行事等の時期も考慮しつつ 10 月～11 月を軸に調整する。食べ物があり、子供が遊べるものがあり、大人も楽しめるをコンセプトに計画を進めていく。

\* 次回開催は 6 月 20 日（土）

以上